



2023

農業研究本部

十勝農業試験場、上川農業試験場

Tohachi Agricultural Experiment Station and Kamikawa Agricultural Experiment Station

道総研

コンバインで収穫ロスが少ない！ 小豆新品种「十育180号」

概要 Abstract

- ・胚軸長が長く、地上10cm莢率が低い。
- ・コンバインで収穫ロスが少なく、機械収穫収量は多い。
- ・土壌病害に強い。
- ・北海道産小豆として十分な加工適性。

成果 Results

普及見込み地帯における成績(2020~2022年、のべ31か所平均)

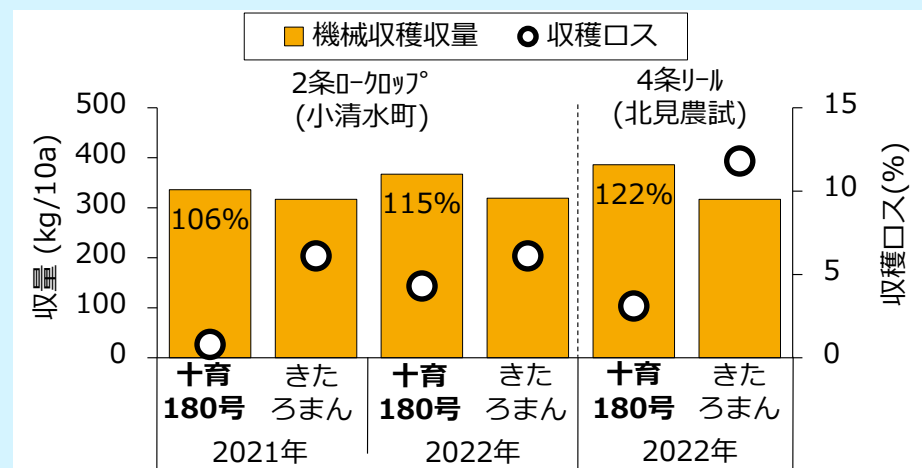
品種名	成熟期 (月日)	倒伏 程度	地上10cm 莢率 (%)	手刈り 子実重	百粒重 (g)
十育180号	9.15	少	6.0	94	14.9
きたろまん	9.17	少	13.3	100	15.8

注1) 地上10cm莢率：地際から10cmの高さに一部でも含まれる莢数の、全莢数に対する割合。

注2) 子実重：「きたろまん」(339kg/10a)に対する百分率。



実規模栽培試験における収量及び収穫ロス



注) 1. 10a規模で栽培試験を行い、収穫調査を実施。

2. グラフの百分比は「きたろまん」に対する「十育180号」の機械収穫収量比を示す。

普及 Dissemination

普及見込み地帯

小豆栽培地帯の

- I (早生種栽培地帯)
- II (早・中生種栽培地帯)
- III (中生種栽培地帯)

栽培上の注意

- 1) 手刈り子実重はやや少ないが、コンバインで収穫ロスが少なく、収量が確保できる。
- 2) 落葉病、茎疫病、萎凋病に抵抗性を持つが、栽培に当たっては適正な輪作を守る。

※本成績は、生研支援センター「イノベーション創出強化推進事業 (JPJ007097)」(01019C、2019~2022年)の支援を受けて実施した。



おいしい和菓子や
あんができます！



連絡先 Contact

十勝農業試験場
研究部 豆類畑作グループ
0155-62-2431
tokachi-agri@hro.or.jp